



まだまだ暑い日が続いていますが、暦の上では秋ですね。秋と言えば、スポーツの秋。障がい者のスポーツ大会は、主に身体障がい者が参加している「パラリンピック」、聴覚障がい者のための「デフリンピック」などがあります。今年には10月に「いちご一会とちぎ大会(第22回・全国障害者スポーツ大会)」も控えています。皆さんは「スペシャルオリンピックス」をご存知でしょうか。



スペシャルオリンピックスとは

知的障がいのある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を提供する、国際的なスポーツ組織です。身近なトレーニングから世界大会まで、さまざまな活動を総称していることから、「スペシャルオリンピックス」という複数形の名称になっています。



歴史

1962年、アメリカでは知的障がいのある人たちが差別的な扱いを受けており、一度もプールで泳いだり、トラックで走ったりしたことがない人たちがいました。そこで、アメリカ人のユニス・シュライバーさんが自宅の庭を開放し、スポーツの機会を提供したことが、スペシャルオリンピックスの始まりです。ユニスさんの姉にも知的障がいがありました。ユニスさんは活動を通じて、知的障がいのある人たちの可能性を広げ、社会参加を推進しようと尽力してきました。1968年に組織化され、その信念は現代へとつながり、世界170ヵ国以上、500万人を超えるアスリートが参加しています。日本では、1994年に国内の本部組織である「スペシャルオリンピックス日本」が設立されました。現在は47都道府県に地区組織が設立され、全国で約8,500人のアスリートと、13,000人以上のボランティアが参加しています。

特徴

スペシャルオリンピックスの最も大切な活動は、各地で行われる日常的なスポーツトレーニングです。参加する知的障がいのある人たちは、年齢や能力に関わらず「アスリート」と呼ばれます。アスリートと同じ地域のボランティアが運営、コーチなどを務め、一緒にスポーツを楽しむことが基本方針です。現在、日本では夏季17競技(陸上など)、冬季8競技(アルペンスキーなど)が行われています。大会は地区大会から世界大会まであり、性別や年齢、競技能力などによってグループに分かれて競い合います。表彰台には上位だけではなく、出場したアスリート全員が立ちます。最後まで競技をやり終えたことに対して、1人ひとりに変わらぬ拍手が送られるのです。



関連情報

➤スペシャルオリンピックス
日本
ホームページ



➤スペシャルオリンピックス
日本・栃木
ホームページ



出典：スペシャルオリンピックス日本